

# 平成30年10月 東京地区百貨店売上高概況

平成30年11月21日

## I. 概況

1. 売上高総額	1,293億円余
2. 前年同月比	2.6% (3か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭2.3%(91.6%) : 非店頭5.5%(8.4%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成30年9月対比±0店)
5. 総店舗面積	839,231㎡ (前年同月比:-0.5%)
6. 総従業員数	17,723人 (前年同月比:-2.4%)
7. 3か月移動平均値	3-5月 1.0%、4-6月 3.4%、5-7月 1.0%、 6-8月 1.1%、7-9月 -1.2%、8-10月 1.5%

[参考] 平成29年10月の売上高増減率は-0.3%

### 【特徴】

- (1) 10月は、改装・増床効果や、物産展などの人気催事・会員向け施策が奏功。雨の少ない安定した気候の中、多数の集客があり、入店客数は3.7%増と12か月連続でプラスした。
- (2) 売上高は2.6%増と3か月連続のプラス。商品別では、主要5品目のうち、衣料品(0.7%増)、身のまわり品(5.7%増)、雑貨(5.1%増)、食料品(3.8%増)の4品目で前年をクリアした。
- (3) 衣料品は、婦人服・洋品と、その他衣料品が牽引した。例年よりも気温が高めだったこともあり、重衣料は伸び悩んだが、秋物衣料は好調。特に、特選、ミセス、ジャケット、ニット等に動きが見られた。
- (4) 身のまわり品は、ラグジュアリーブランドのバッグや小物、カジュアルシューズ、ネックレス等アクセサリが動いた。雑貨では、国内消費が堅調な化粧品・高額商材(美術・宝飾・貴金属)や、スポーツ用品等を含むその他雑貨の全項目で前年をクリアした。
- (5) 食料品は3か月連続プラス。食品関連の催事・企画が好評で、菓子や、弁当などの惣菜、その他食料品で対前年増となった。また、おせちやクリスマスケーキ予約は、店頭・ネットともに好調に推移している。
- (6) 11月中間段階の商況は、4.7%減(11/15)で推移している。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比 +0.1日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)  
①増加した: 8店、②変化なし: 5店、③減少した: 6店
- (3) 10月歳時記(秋物商戦、秋の行楽)の売上 (同上/有効回答数11店舗)  
①増加した: 0店、②変化なし: 8店、③減少した: 3店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2018年10月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
<b>総 額</b>	<b>129,397,928</b>	<b>100.0</b>	<b>2.6</b>
紳士服・洋品	12,642,643	9.8	-3.2
婦人服・洋品	24,873,243	19.2	3.0
子供服・洋品	2,439,134	1.9	-3.1
その他衣料品	2,465,973	1.9	3.5
<b>衣 料 品</b>	<b>42,420,993</b>	<b>32.8</b>	<b>0.7</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>18,933,443</b>	<b>14.6</b>	<b>5.7</b>
化粧品	13,974,681	10.8	3.9
美術・宝飾・貴金属	9,142,653	7.1	4.7
その他雑貨	5,506,381	4.3	9.0
<b>雑 貨</b>	<b>28,623,715</b>	<b>22.1</b>	<b>5.1</b>
家具	1,473,054	1.1	6.4
家電	452,171	0.3	-25.7
その他家庭用品	3,127,175	2.4	-5.7
<b>家庭用品</b>	<b>5,052,400</b>	<b>3.9</b>	<b>-4.8</b>
生鮮食品	4,117,402	3.2	-0.7
菓子	7,171,716	5.5	5.2
惣菜	6,847,128	5.3	2.6
その他食料品	8,352,937	6.5	5.9
<b>食 料 品</b>	<b>26,489,183</b>	<b>20.5</b>	<b>3.8</b>
<b>食堂 喫茶</b>	<b>2,722,069</b>	<b>2.1</b>	<b>-5.9</b>
<b>サービス</b>	<b>2,056,742</b>	<b>1.6</b>	<b>2.8</b>
<b>そ の 他</b>	<b>3,099,383</b>	<b>2.4</b>	<b>-1.7</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商品券	2,141,978 千円	-4.5
従業員数	17,723 人	-2.4
店舗面積	839,231 m <sup>2</sup>	-0.5
営業日数	31.0 日	前年 30.9 日

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が23か月連続、食料品が3か月連続、身のまわり品が2か月ぶり、衣料品が4か月ぶりのプラスとなった。また、家庭用品が2か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が43か月連続、その他雑貨が11か月連続、家具、惣菜、その他食料品が3か月連続、菓子が2か月連続、婦人服・洋品が2か月ぶり、その他衣料品、美術・宝飾・貴金属が4か月ぶりのプラスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>2.6</b>	<b>—</b>	<b>3か月連続プラス</b>
紳士服・洋品	-3.2	-0.3	2か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	3.0	0.6	2か月ぶりプラス
子供服・洋品	-3.1	-0.1	3か月ぶりマイナス
その他衣料品	3.5	0.1	4か月ぶりプラス
<b>衣料品</b>	<b>0.7</b>	<b>0.2</b>	<b>4か月ぶりプラス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>5.7</b>	<b>0.8</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
化粧品	3.9	0.4	43か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	4.7	0.3	4か月ぶりプラス*
その他雑貨	9.0	0.4	11か月連続プラス*
<b>雑貨</b>	<b>5.1</b>	<b>1.1</b>	<b>23か月連続プラス</b>
家具	6.4	0.1	3か月連続プラス
家電	-25.7	-0.1	2か月連続マイナス
その他家庭用品	-5.7	-0.1	4か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-4.8</b>	<b>-0.2</b>	<b>2か月連続マイナス</b>
生鮮食品	-0.7	-0.0	2か月ぶりマイナス*
菓子	5.2	0.3	2か月連続プラス*
惣菜	2.6	0.1	3か月連続プラス*
その他食料品	5.9	0.4	3か月連続プラス*
<b>食料品</b>	<b>3.8</b>	<b>0.8</b>	<b>3か月連続プラス</b>
食堂喫茶	-5.9	-0.1	2か月連続マイナス
サービス	2.8	0.0	4か月ぶりプラス
その他	-1.7	-0.0	2か月ぶりマイナス
<b>商品券</b>	<b>-4.5</b>	<b>-0.1</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>